

Tokyo Legal Affairs Bureau

# 東京法務局

先輩職員からの  
メッセージ  
～令和8年度版～

# 目次

1

先輩職員からメッセージ(大卒程度).....p01~

2

先輩職員からメッセージ(高卒程度).....p05~

3

先輩職員からメッセージ(係長級).....p09~

4

よくある質問.....p11~

不動産登記推進  
イメージキャラクター  
トウキツネ



東京法務局職員採用担当公式X(旧Twitter)  
でも採用情報を発信しています!  
見逃さないよう、良ければフォローお願いします。





民事行政部  
国籍課

2022年  
大卒区分採用

**ここでしか経験できない業務に、幅広く携わることができる職場です**

### 【現在の仕事内容は？】

国籍課では、外国籍の方が日本国籍を取得する帰化許可申請や国籍取得届出、日本国籍を喪失させる国籍離脱の届出等に係る業務を担当しています。具体的には、申請者に対する相談や面接、審査書類の作成など、各申請や届出に関する一連の業務を行っています。

### 【職場の雰囲気は？】

国籍に関する手続は、申請される方によって内容が多岐にわたるため、困ったときは上司や同僚と気軽に相談できる、風通しのよい職場です。申請数は多いですが、自分でスケジュールを調整して休暇を取得することができるので、メリハリをつけて働くことができます。



ある日のスケジュール	
8:00	登庁、メールチェック等
8:30	経常業務(本省への報告物、書類審査、電話対応等)
12:00	昼休み
13:00	相談・面談等
15:30	審査書類の作成等
17:30	翌日のスケジュール確認、退庁

### 【みなさんへメッセージ】

「法務局」と聞いてもあまりイメージが湧かないと思いますが、実際に働いてみると、国民の生活との関わりが深い行政機関だと感じます。法令に関する問合せを受けることも多く、日々勉強の毎日ですが、責任のある仕事ができることはやりがいにつながっています。また、法務局は部署によって業務内容が多岐にわたるので、いろいろな経験をしながら専門知識を身に付けられるのも、魅力の一つだと思います。

民事行政部  
後見登録課

民事行政部  
後見登録課

2022年  
大卒区分採用

## 支えあいながら 成長していける職場です

### 【職場の雰囲気は？】

年齢の差を感じることなく、分からない点をお互いに聞き合える風通しの良い職場です。育児の関係で勤務時間を調整している職員や、研修に参加している職員など、一人一人の生活や成長に合わせた働き方ができるのも魅力的だと思います。また、休暇も取りやすく、職員同士で支えあいながら日々業務を行っています。



### 【みなさんへメッセージ】

採用当初の私は法律の知識がなく、毎日が聞き慣れない用語ばかりでした。それでも上司から一つ一つの疑問について親身に教えていただくことで少しずつ仕事にも慣れ、段々と主体的に業務に取り組めるようになっていきました。法務局は働いていく中で成長を実感できる場所だと思います。興味のある方はぜひ検討をしてみてください。

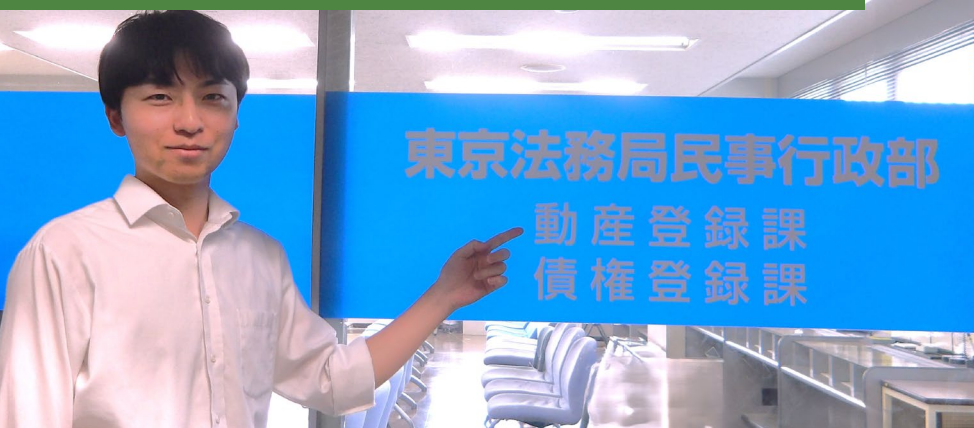
### 【現在の仕事内容は？】

東京法務局の後見登録課に所属しています。現在は、家庭裁判所や公証役場、一般のお客様からの申請書を確認して受付をし、申請内容を登記簿に反映させる業務に取り組んでいます。当課は、全国の法務局で唯一の成年後見登記事務を取り扱っている部署であり、1日のうち忙しい時間帯もありますが、メリハリをもって仕事に取り組んでいます。

### ある日のスケジュール

8:30	登庁
9:00	経常業務 (申請書類の受付、連絡等)
9:30	朝礼
10:00	入力業務
11:30	昼休み
12:30	経常業務 (申請書類の受付、連絡等)
17:00	翌日のスケジュール確認
17:30	退庁

## 先輩職員インタビュー



民事行政部  
動産登録課

2019年  
大卒区分採用

**幅広い分野の仕事から  
自分の「強み」を発見  
できる職場です！**



### 【現在の仕事内容は？】

動産譲渡登記の審査、相談業務及び統計に関する業務をメインに担当しています。「動産譲渡登記」という言葉について、あまりなじみがないかもしれませんが、動産の譲渡について対抗要件を備える登記制度のことを指します。全国で担当している部署は当課のみなので、繁忙期は特に大変ですが、皆で協力して懸命に業務に取り組んでいます。

### 【職場の雰囲気は？】

当課は非常に小規模な職場ですが、その分、職員同士の距離が近く、気兼ねなく相談できる体制が整っています。また、業務の進捗状況について、上司に常に気にかけていただいているので大変有難いです。

### 【みなさんへメッセージ】

各種登記法をはじめとする、様々な法律に関する仕事に携わってみたい方には、是非ともおすすめできる職場です。また、手厚い研修制度があるので、法律を勉強したことがない方でも安心して働くことができます。

法務局のことをもっと知っていただき、ゆくゆくは就職を希望していただけたらとてもうれしく思います。

### ある日のスケジュール

	ある日のスケジュール
8:30	登庁・統計業務
9:00	経常業務 (事件審査・窓口・電話対応、証明書発行業務)
10:00	郵送申請收受(午前便)
12:00	昼休み
13:00	庶務事務
16:00	郵送申請收受(午後便)
16:30	経常業務 (事件審査・窓口・電話対応、証明書発行業務)
17:15	退庁

## 人権擁護部 第二課

2022年  
大卒区分採用

### 【現在の仕事内容は？】

私が所属する人権擁護部第二課では、人権に関する様々な悩みを持つ方からの相談（電話、面談、メール、チャットなど）に対して、アドバイスをしたり、適切な機関を案内したりしています。

また、インターネット事案担当職員として、「インターネット上で被害を受けた」という被害者の方からの申出を受けて調査を行い、人権侵犯の事実が認められた場合、プロバイダ等に対して削除要請をすることによって、国民の皆様身近に起こるインターネット上の人権問題を解決に導く取組を行っています。



## 職員同士が一致団結 できる職場です

### 【職場の雰囲気は？】

和やかな雰囲気です。人権相談及び人権侵犯事件について、上司に相談したり自分の意見を伝えたりしやすいところが強みです。

例えば、チャットで寄せられたこどもからの相談に対して、どういう解決策があるか、どういう言葉を返してあげればいいのかなど、周りの職員と話しながら対応しています。

人権侵犯の調査においても、上司とお互いの意見を出し合うことによって、誰もが納得できる方針を決定するべく一生懸命取り組んでいます。

### 【みなさんへメッセージ】

法務局の業務は多岐にわたりますが、どの業務も国民の権利など生活に関わる重要なものです。そして部署が変わるたびに新しい知識を習得しなければなりません。様々な研修が用意されており、専門的な知識の習得ができます。

また、分からないことがあったとしても職員同士で助け合う働きやすい環境でもあります。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

# 先輩職員インタビュー

民事行政部  
第二法人登記部門

2023年  
高卒区分採用

【現在の仕事内容は？】

東京法務局民事行政部第二法人登記部門に所属しており、会社や法人の登記に関する業務に携わっています。

現在は、各種法令を参照しながら申請書類を審査し、申請内容を登記簿に反映させるためにシステムに記入する業務を行っています。

**様々な業務に携わることが出来ます！**

【職場の雰囲気は？】

困ったことや分からないことを相談しやすい雰囲気です。上司や先輩方に相談すると、解決するまで丁寧に教えてくださるので安心して働くことができます。

また、登記申請の受付から完了まで職員全員で協力して行っているため、一体感のある職場だと思います。

【みなさんへメッセージ】

法務局の業務は、登記・人権・戸籍・国籍・供託事務など多岐にわたっています。どれも国民の生活に密接に関わっており、多くのやりがいを感じることができます。部署が変わると新たに知識が必要となるため大変ですが、上司や先輩方に支えられながら様々なことを学び、成長することができます。法務局で皆さんと働けることを楽しみにしています。



# 先輩職員インタビュー

民事行政部  
供託第二課

2017年  
高卒区分採用



若手職員が多く、  
活気あふれる職場です。

【現在の仕事内容は？】

## ある日のスケジュール

8:00	登庁・当日業務の準備 (受付窓口の準備等)
8:30	経常業務 (窓口対応、請求書類の調査、 請求者へ補正連絡等)
12:00	昼休み
13:00	経常業務 (窓口対応、請求書類の調査、 請求者へ補正連絡等)
17:15	後片付け、統計資料の出力等
17:30	退庁

東京法務局民事行政部供託第二課に所属しており、供託者から供託金を受け入れる業務や供託者から預けられた供託金を払い渡す業務に携わっています。現在は、窓口でのお客様対応、窓口や郵送で提出された払渡請求書類の審査や払渡請求に関する問合せの電話対応を行っています。

【育児等との両立について】

長男、長女が生まれた際、育児休業等を取得しました。子育ての大変さを感じると同時に我が子の成長を日々感じることができました。また、現在も子の病気等による看護休暇の取得など、職場の同僚からサポートを受けながら勤務しており、仕事と育児を両立できる職場環境であると感じています。

【みなさんへメッセージ】

私は、高卒区分で入局したため、法律に関する知識は全くありませんでしたが、研修や先輩方の丁寧な指導、勉強会等を通じ、専門的な知識を習得することができました。法務局の業務は登記や戸籍・国籍、人権擁護など多岐にわたりますが、いずれも国民の財産等の権利関係や身分関係に密接に関連した業務であり、非常にやりがいを感じられる職場です。皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。



# 先輩職員インタビュー

## 民事行政部 不動産登記部門

2022年  
高卒区分採用

周りの職員と  
助け合いなが  
ら働ける職場  
です

筆  
界  
特  
定  
室

### 【職場の雰囲気は？】

筆界特定室ではペアで業務を行っており、分からないことや困ったことがあってもひとりで抱え込まず、協力して処理するため、働きやすい職場だと感じています。

また、周囲の職員にも相談しやすい暖かい職場のため、周りの職員と互いに助け合いながら、日々業務を行っています。

### ある日のスケジュール

8:30	登庁・メールチェック等
9:00	相談対応 (筆界特定申請の説明、書類・内容の確認及び受理)
10:00	手続記録閲覧対応
11:30	資料確認 (戸籍調査、測量成果の検証)
12:45	昼休み
13:45	資料請求 (関係図面及び戸籍等の収集)
15:00	現況等把握調査準備 (関係人への通知作成、関係図面及び聴取事項の整理)
17:00	翌日のスケジュール確認
17:15	退庁

### 【現在の仕事内容は？】

民事行政部不動産登記部門に所属しています。現在は、不明となっている土地の筆界の位置を明らかにする筆界特定に関する業務を担当しています。筆界特定にあたっては、関係する資料を様々な機関から収集し、その資料から検討・検証を行っています。

また、実際に現地に赴き、構造物や地形等を調べたり、土地の所有者の方々から筆界に関するご意見等を伺ったりしています。



### 【みなさんへメッセージ】

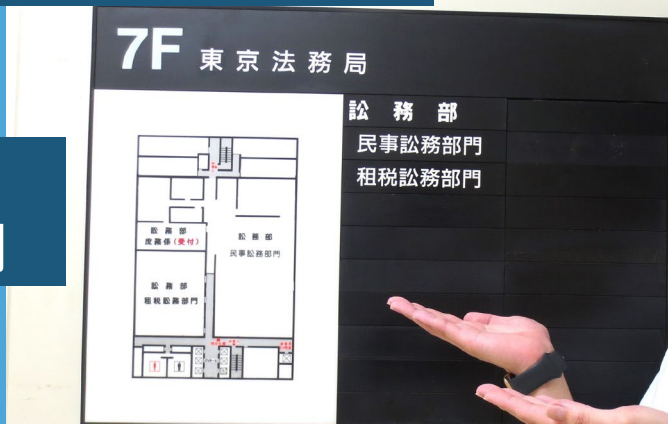
法務局の業務は多岐にわたっていることから、日々学ぶことが多く、大変だと感じることも多々あります。しかし、分からないことがあっても職員同士で助け合っていける働きやすい職場ですので、様々な経験をしたい方におすすめの職場です。

また、どの業務も国民の権利に密接に関わる重要な業務であるため、多くのやりがいを感じながら、意欲をもって働いていけると思います。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

# 先輩職員インタビュー

## 訟務部 民事訟務部門

2016年  
高卒区分採用



## 10年経っても 知らないことばかりです

### 【職場の雰囲気は？】

訟務部は、法務局の職員だけでなく、法曹資格者である部付検事や他省庁からの出向者など様々な経歴を持つ職員が在籍しており、一緒に仕事をする事で多様な視点に触れることができます。

また、他部署とは違い、事務内容が「勝ち負け」につながる特殊な部署でもあるため、判決言渡期日が近いと緊張感が高まる職場でもあります。普段は風通しのよい明るい雰囲気です。

### 【現在の仕事内容は？】

国の利害に関係のある争訟について、国の立場から、裁判所に対して、申立てや主張・立証などの活動を行う訟務事務を担当しています。

具体的には、国の指定代理人として、裁判所への出廷や、事案ごとに関係する他の行政機関との連絡・調整、裁判所へ提出する書面の準備等を行っています。



### 【みなさんへメッセージ】

法務局の職員誰もが思う法務局のイメージといえば「多種多様の業務がある」ことだと思います。「浅く広く」や「狭く深く」はよく聞いたことがありますが、法務局では「広く深く」業務に携わることができます。私も入局して10年経ちましたが、まだまだまだまだ携わっていない業務がたくさんあります。おそらく、20年後も30年後も日々新たな発見の連続で勉強していると思いますし、そこが法務局の良さでもあるのかなと感じています。

もし興味をお持ちになる方がいらっしゃれば一緒に働ける日を楽しみにしています。

	ある日のスケジュール
8:00	登庁・メールチェック
8:30	準備書面起案
10:30	行政庁と打合せ
11:30	メールチェック
12:00	昼休み
13:00	期日準備
14:00	期日出廷 (東京地方裁判所)
15:30	報告書作成
16:30	準備書面起案
18:00	退庁

## 先輩職員インタビュー

民事行政部  
不動産登記部門

2022年  
係長級採用

**メリハリをつけて仕事  
することができる職場  
です。**



### 【現在の仕事内容は？】

東京法務局民事行政部不動産登記部門に所属しています。不動産登記は、土地や建物に関する権利を正確に記録し、人々の生活や取引の安全を支えるとても重要な制度です。

現在は主に不動産登記申請書類の調査業務を行っており、申請書類にくまなく目を通して、修正が必要なものがあれば申請者に連絡をとり修正をお願いしています。



### 【職場の雰囲気は？】

私の所属する不動産登記部門は、分からないことを気軽に相談できる雰囲気であり、経験年数に関わらず意見を出し合える環境です。

複雑な案件に向き合う時も、周りの先輩や同僚が自然と声をかけて助けて頂いています。また、計画的に休暇を取得できるのでワークライフバランスも充実しやすいです。

### 【みなさんへメッセージ】

法務局の仕事は多岐に渡っていますが、その多くが国民の権利と財産を守る重要な役割を担っています。所属が変わるたびに新たな業務、新たな知識が必要となってきます。

法務局の仕事に興味を持っている皆さんには、ぜひ「知識を積み重ねる楽しさ」と「社会の基盤を支えている実感」を味わってほしいと思います。


最初は覚えることも多いですが、一つひとつ理解が深まるたびに、自分の成長を実感できる仕事です。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

# 先輩職員インタビュー

東京法務局  
世田谷出張所

2025年  
係長級採用



**転職組でも  
馴染みやすい、  
アットホーム  
な職場です！**

## 【現在の仕事内容は？】

東京法務局世田谷出張所に所属しています。世田谷出張所は約3か月おきに若手職員のジョブローテーションがあり、現在は表示係の一員として日々学びながら業務にあたっています。不動産登記の表題部に関する申請の、審査を終えたものをシステムへ入力する作業や、令和8年2月に新たに始まった不動産記録証明制度の請求内容の審査等を担当しています。

## 【職場の雰囲気は？】

転職組でも馴染みやすい、アットホームな職場です。私は選考採用試験を経て係長級の職員として入庁しましたが、法務局の業務に直接関わる業務経験は全くない状態で、当初は不安な気持ちでした。

入庁後世田谷出張所に配属となり、周りの方にゼロから教えていただきながら業務にあたることで、大変ながらも学びに溢れた日々を送ることができています。人事異動のスペンが1年半～2年半程度と比較的短めということもあり、新規採用者も馴染みやすい空気があるのと、わからないことがあるときは、皆さん親切に教えてくださるので、とてもありがたいです。

## 【みなさんへメッセージ】

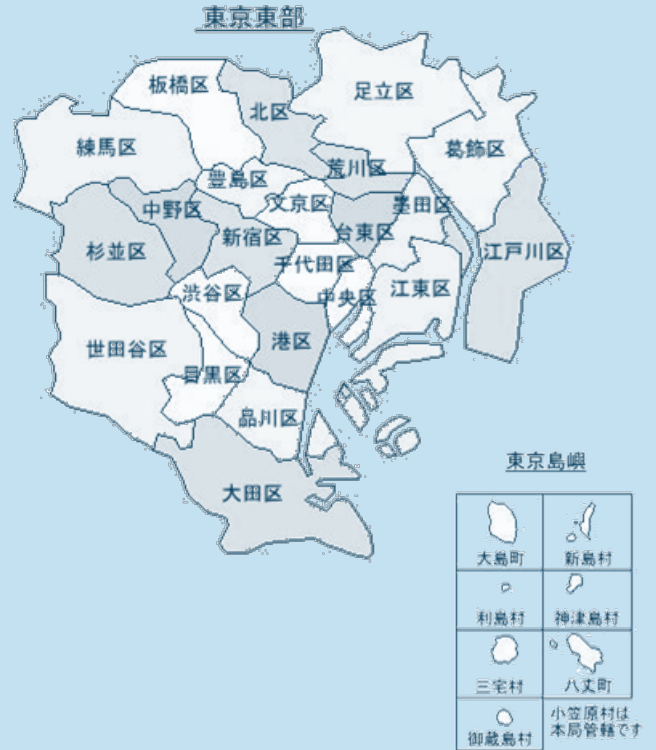
法務局の扱う業務は多岐にわたるので、さまざまな業務を経験したい方にはとてもおすすめの職場です。また研修制度や勉強会があるので、学びながら成長できる環境が整っています。選考採用試験の受験を迷っている方は、もし職場に馴染めるかどうか懸念点になっているのであれば、そこは心配無用です。気になる方はぜひ、業務説明会に参加してみてください。



# 東京法務局管轄のご紹介

東京法務局は、本局のほかに、3支局と19出張所の計23か所の法務局があります！

庁名	管轄区域
本局	千代田区、中央区、文京区、東京島嶼
港出張所	港区
台東出張所	台東区
墨田出張所	墨田区、江東区
品川出張所	品川区
城南出張所	大田区
世田谷出張所	世田谷区
渋谷出張所	渋谷区、目黒区
新宿出張所	新宿区
中野出張所	中野区
杉並出張所	杉並区
板橋出張所	板橋区
豊島出張所	豊島区
北出張所	北区
練馬出張所	練馬区
江戸川出張所	江戸川区
城北出張所	足立区、葛飾区



【出張所】  
不動産登記事務、商業法人登記事務を取り扱っています。



【支局】  
登記事務のほか、人権擁護事務、戸籍・国籍事務、供託事務を取り扱っています。

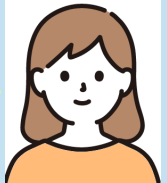
庁名	管轄区域
八王子支局	八王子市
府中支局	武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市、多摩市、稲城市
西多摩支局	青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、西多摩郡
町田出張所	町田市
田無出張所	小平市、東村山市、西東京市、清瀬市、東久留米市
立川出張所	立川市、昭島市、日野市、武蔵村山市、東大和市、国分寺市、国立市

# よくある質問にお答えします！



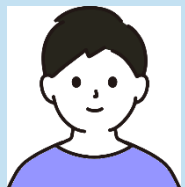
職場の雰囲気教えてください。

分からないことがあっても相談しやすく、アットホームな雰囲気があり、風通しの良い職場です。



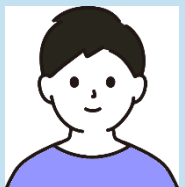
研修について教えてください。

採用後、法務局職員としての心構え、業務を行う上での法律知識・技能を習得するための研修を行っています。その後も様々な研修を受ける機会があります。



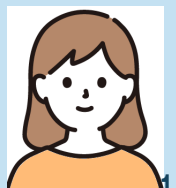
休暇等について教えてください。

年次休暇、夏季休暇、特別休暇（結婚・介護等）はもちろん、仕事と家庭の両立を支援するため、育児休業、育児時間、配偶者出産休暇、子の看護休暇等があります。また、毎週水曜日に残業をしない日「ノー残業デー」といった取組も行っています。



やりがいを感じることはありますか。

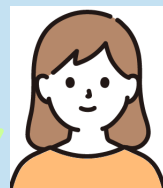
電話や窓口での複雑な相談に正確に答えられたときや相談を受けた際に「分かりやすかった、ありがとう。」等と声をかけてもらえたときにやりがいを感じました。





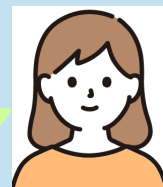
選考において、学歴や学部で違いはありますか？

法務局では、人物本位の採用を行っているため、選考において年齢、新卒・既卒、学歴、出身学部等は考慮しません。また、大学を卒業した職員の中には、法学部出身者以外の、例えば文学部、教育学部、教養学部、人文社会科学部、理学部、経済学部など様々な学部出身者がいます。



学校で法律を勉強していなくて、多様な業務をこなせるか不安です。

法務局は、研修制度が充実しており、法律及び法的思考力を基礎から学ぶ機会があります。また、職場で勉強会が開催されたり、日々の業務においては新規採用職員に先輩職員が指導官としてつき、指導を行っています。



異動（転勤）について教えてください。

基本的には、東京法務局本局内の部署への異動や都内の支局・出張所への異動となります。また、職員の適性、職員本人の希望等を考慮した上で、法務本省への異動もあります。



東京法務局ならではの魅力はありますか。

全国で東京法務局でしか行っていない動産・債権譲渡登記や成年後見登記の業務があり、多様なことにチャレンジできます。

